

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成15年～			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	01 子育て支援
事務事業名		12 地域子育て支援拠点事業	問 担当課(室) ことども課 先 職・氏名 子育て支援係長 岡本洋子 電 話 0869-64-1853

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	主に乳幼児と保護者
目 的 (何のために)	子育てへの不安感や負担感の緩和を図り安心して子育てができる環境を整備する。
行 政 活 動 (どのような方法で)	子育て親士の交流及び集いの広場の提供、子育てに関する相談及び援助の実施、地域の子育て支援関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習を実施する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	子育てについての不安感の緩和を図り、子育てが楽しいと実感できるようにする。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
わくわくる一む利用人数	人	7,714	6,358	7,447
拠点事業実施箇所	箇所	1	1	1
子育て支援センター園庭開放延利用数	人	1,335	1,556	979
子育て支援センター相談件数	件	25	7	5
事業費	千円	3,800	3,293	5,822
必要人員	人	0.30人	0.25人	0.12人
事業費	千円	3,800	3,293	5,822
国 県 支 出 金		1023	1417	3040
受 益 者 負 担 金				
繰 入 金				
市 債				
そ の 他 ()				
一 般 財 源		2,777	1,876	2,782
受 益 者 負 担 比 率	%			

結果指標名				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
わくわくる一む	延利用人数	7,714	6,358	7,447
対 前 年 比	%	-	82.4%	117.1%
活 動 コ ス ト	円	3,800,000	3,293,000	5,822,000
単 位 当 たり コ ス ト	円	493	518	782
拠点事業実施箇所	実施項目箇所	1	1	2
対 前 年 比	%	-	100.0%	200.0%
活 動 コ ス ト	円	3,800,000	3,293,000	5,822,000
単 位 当 たり コ ス ト	円	3,800,000	3,293,000	2,911,000

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
わくわくる一む利用人数	目標値 (A)	7,000	7,000	7,000	7,000
	実績値 (B)	7,714	6,358	7,447	到達目標年度
	達成率 (B/A)	110.2	90.8	106.3	平成22年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
わくわくる一む利用人数 ※ H20年度より事務事業の組替として、。地域子育て拠点事業は、ひろば型(わくわくる一む)の実施とセンター型(伊部保育園内の地域子育て支援センター)の2箇所となる。19年度まで地域子育て支援センターは、特別保育事業で評価していた。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 小児化や地域の繋がりが等希薄化する中で子育て親子が身近な場所で気軽に集える場や情報の提供に冠するニーズが高まっており、より身近な場所で実施できるよう開設の増設が求められる。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 市民ニーズの高い事業である。平成19年度からNPO法人に事業を委託して実施しているが、団体の経験を生かし他と異なる事業の展開が期待できる。また今後もボランティアや地域の協力を得て事業を実施していく必要がある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	頂 B 判定理由・課題認識 今後、市民ニーズを聴取しながら事業の充実を検討していく必要がある。

平成21年度の状況		結果指標量②		成果指標量	
目標値	7,000	2	7,000		
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
説明	平成19年度から事業をNPO法人に委託して実施している。				

総合評価		評価区分<A~E>
子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育てができる環境を整備することは、本市の重要施策の1つであり、次世代育成支援行動計画に沿って、今後も市民のニーズにあった子育て支援事業の充実、市内の実施箇所を増設していく必要がある。		B

平成22年度以降の方向性・内容		方向性					
方向性		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	市内に計画中の認定子ども園を開設に伴い子育て支援のための施設を創設する中で事業を実施していく。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			
	有効性	次世代育成支援行動計画に基づき22年度は目標達成に向けて増設をしていく。	平成22年度	身近に子育て中の親子が集える場所ができて情報交換・提供や相談を受けることにより、子育ての不安感・負担感の解消に繋がる。			